



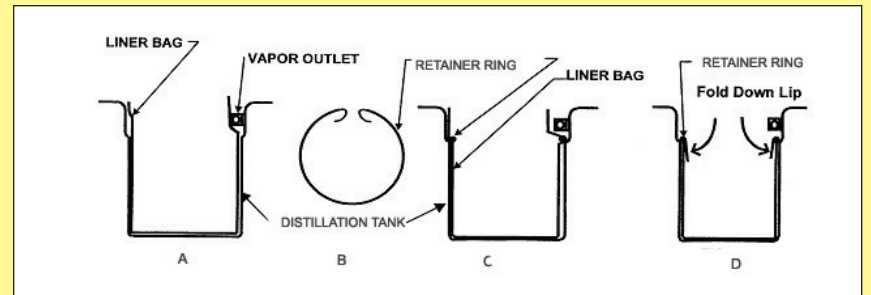
20ガロン 溶剤リサイクラー 標準作業手順書

1) 新品ライナーバッグの取り付け

- a) 品番、PNLB2000E-10 のライナーバッグを取り付け、バッグの底面が右図Aに示すように蒸留タンクの底に平らに設置されるようにしてください。
- b) 親指と人差し指でリテーニングリングを挟み、図BおよびCのようにライナーバッグの内側に挿入します。離して溝に確実に固定されていることを確認してください。ライナーバッグのフラップをリテーニングリングの上に折り返します。

注意:

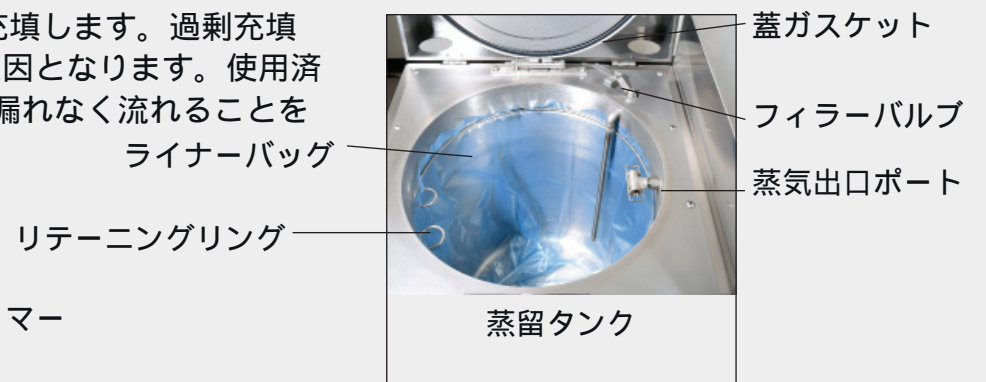
- バッグ材が 1) 蒸気出口ポートを塞いだり
2) 蓋とタンクの間に挟まったりしないようにしてください。



新しいライナーバッグの取り付け

- 2) フィラーバルブを開ける（右写真参照）。フィラータイマーを回し、使用済み溶剤を蒸留タンクへ、リテーニングリングの3インチ下まで充填します。過剰充填は凝縮器通路の 閉塞や蓋ガスケット下部からの漏れの原因となります。使用済み溶剤ドラムから装置背面の溶剤吸入ポートまで、溶剤が漏れなく流れることを確認してください。

フィラーバルブを閉じ、蓋とカバーを閉めます。



3) リサイクル開始

「START」ボタンを押します。蒸留が開始され、「HEAT」ライトが点灯します。加熱ライトは点滅します。リサイクルを停止したい場合は「STOP」を押してください。プラグを抜かないでください。

危険: ディスプレイに「READY」と表示されるまで、カバーと蓋を開けないでください。

温度設定値の変更方法については、取扱説明書または溶剤リサイクラーのカバー裏の指示を参照してください。

4) リサイクル完了

キーパッドのディスプレイに「READY」が表示されたら、リサイクルは完了です。

5) 清浄溶剤の移送

- a) 移送タイマーを回し、清浄な再生溶剤を清潔な外部の溶剤ドラムに移送します。

6) 残留物の除去:

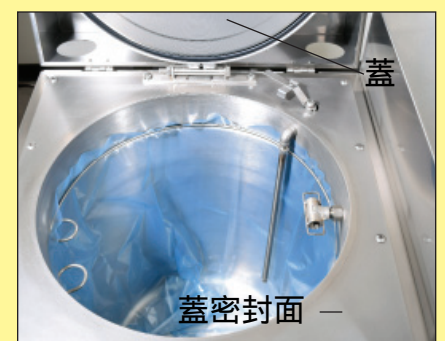
- a) 手袋と保護メガネを着用し、リテーニングリングを取り外します。
- b) ライナーバッグが破れないように注意しながら、残留物を含んだライナーバッグを蒸留タンクからゆっくりと引き出します。地域の規制で特に定めがない限り、残留物は有害物質として処分してください。蒸留タンク内に古い廃棄物を残したまま、後で新しい溶剤を追加してリサイクルしないでください。

注記: バッグがタンク底に貼り付いている場合は、リサイクラーを5分間作動させてバッグをタンク底から緩め、タンクが温かいうちにバッグを持ち上げて取り出してください。ライナーバッグは再利用しないでください。廃棄物を効果的に除去するために、リサイクル毎に新しいライナーバッグを使用してください。

7) 蒸留タンクの清掃

蒸留タンクから残留物をすべて取り除きます。必要に応じて、新鮮な溶剤またはエチレングリコール（不凍液）を追加し、プラスチックまたは木製の工具で清掃してください。布でタンクを拭き、乾燥させます。タンクを損傷する可能性がある研磨剤や金属製の工具で清掃しないでください。タンク内に残った汚れや残留物は、リサイクル中に溶剤に十分な熱が届くのを妨げる可能性があります。

注記: 凝縮により、リサイクル後には蒸留タンクに約1/4ガロン（1リットル）の溶剤が残ります。この溶剤をタンク内に放置すると、腐食の原因となります。



蒸留タンク

8) 蓋密封面の清掃:

布を使用してください。1) 蓋と蓋ガスケット、および 2) 蓋ガスケットが設置されているタンク上面である蓋密封面を清掃し、乾燥させます（右写真参照）。この清掃は蓋ガスケットの寿命を延ばし、漏れを防ぎます。清掃中に蓋を回転させないようにしてください。



20ガロン 溶剤リサイクラー 標準保守及び安全手順

各使用前:

点検:

- キャビネットのドアを開け、溶剤出口チューブが受入ドラムの上部開口部に挿入されていることを確認してください（右写真参照）。
- 蓋ガスケットに切り傷や硬化部分がないか点検してください。リサイクル毎に、蓋ガスケット下部からの溶剤漏れがないか確認してください。損傷した蓋ガスケットは密封不良や蒸気漏れを引き起こし、危険であり無駄にもなります。損傷した蓋ガスケットは、下記の保守手順に従って交換してください。ガスケットは少なくとも6ヶ月毎に交換してください。

清掃:

- 蓋が確実に密封できるように、タンク上面が清潔で、塗料や汚染溶剤が付着していないことを確認してください。タンク自体も清潔で損傷がないことを確認してください。

3ヶ月毎:

点検:

- 溶剤リサイクラーが防爆プラグ及びレセプタクル（または防爆ハード接続）を使用して建物電源に接続されていることを確認してください。本装置は溶剤を使用するため、安全な運転およびUL 2208及びCSA 22.2への製品認証維持のために防爆接続が必須です。防爆レセプタクルはこのページ下部に示されています。
- レールが金属製の場合、接地線が受入容器に接続されていることを確認してください。
- 溶剤リサイクラー周辺（リサイクラー背面から16インチ、両側面及び前面から10フィート）を、Class 1, Division 2 防爆区域として扱ってください。この区域は整理整頓し、残留物、他の高温表面、危険物、および非防爆レセプタクルなどの全ての発火源から解放された状態に保ってください。この区域が十分に換気され、溶剤リサイクラーの運転から発生する溶剤蒸気が拡散できるようにしてください。
- 溶剤リサイクラーに修理が必要な場合は、ユニラムサービスエンジニア（1-800-417-9133）に連絡してください。修理は資格を有する防爆修理業者によって行われなければなりません。

清掃:

- 下記の保守手順に従って、1) 凝縮器と 2) 蒸気出口ポートを清掃してください。

溶剤出口チューブ

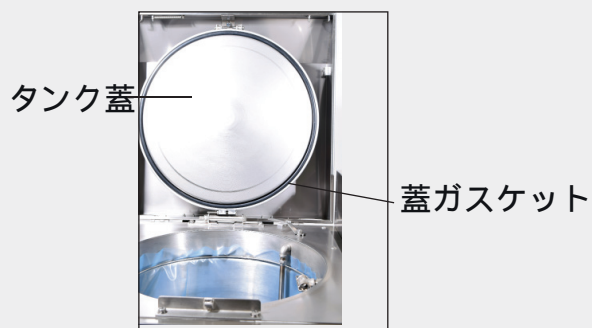


受入ドラム

保守手順

蓋ガスケットの交換

- 安全カバーとタンク蓋を開けます。



- ガスケット止めリングのネジを緩め、蓋ガスケットを取り外します。
- 新しい蓋ガスケットを取り付ける前に、すべての汚れが取り除かれるように、スカーフ/研磨材（不織布）で、蓋ガスケットが設置されていた蓋の縁を清掃します。指で蓋ガスケットの一部を溝に押し込みます。リングの周囲を徐々に進めていきます。リングが変形なく平らであることが重要です。クランプを締めます。新しい蓋ガスケットを取り付ける際に、工具や鋭利な物を使用するとガスケットを損傷する可能性があるため使用しないでください。
- 蓋ガスケットの機能が正常であることを確認するために、10リットルの清浄な水をリサイクルしてください。

蒸気出口ポートの清掃

- 蒸気出口ポートのネジを緩めて外し、小さな金属ピンで清掃します。必要に応じて、清掃前にシンナーにポートを浸してください。閉塞を防ぐために、ポートの両開口部が残留物で塞がれていないことが重要です。

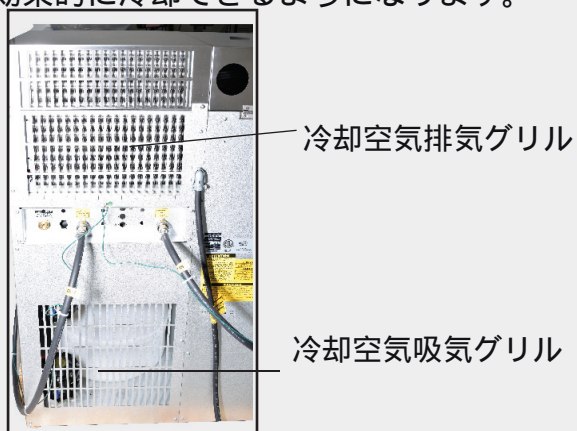
蒸留タンク



- 蒸気出口ポートの上に布を置きます。ブローガンを使用し、ドア内側、受入バケツ上部にある溶剤出口チューブから空気を吹き込みます。凝縮器内の物質（もしあれば）は、蒸気出口ポートからタンク内に排出されます。
- 蒸気出口ポートと凝縮器を洗い流すために、10ガロンの清浄な溶剤をリサイクルしてください。

凝縮器の清掃

ブラシ付きアタッチメントを装着した掃除機を使用し、吸気グリルと排気グリルから埃を清掃します（下記参照）。この清掃により、凝縮器フィンの埃が除去され、凝縮器を効果的に冷却できるようになります。



防爆レセプタクル

本装置は溶剤を使用するため、安全な運転およびUL 2208及びCSA 22.2への製品認証維持のために防爆接続が必須です。

